



大曲高等学校 校舎棟建設工事 工事だより



『梅雨も明け、本格的な夏を迎えました』

July → August

暑中お見舞い申し上げます。連日の気温が30℃を超え、厳しい暑さが続く今日この頃ですが、皆様お変わりないでしょうか。先日秋田県内でもコロナ感染者数が過去最多を記録するなど、酷暑も重なりまだまだ気を許せない状況が続いております。

感染予防にマスクは重要ですが、熱中症の恐れがある場合は状況により外した方が安全だったり、対応も変わってきます。体調の変化に注意し、元気に夏を過ごしましょう。



『工事現場の進捗の様子をご紹介します』

現場では建物の軸となる躯体工事が進んでいます。本建物は鉄筋コンクリート造と呼ばれる構造で、鉄筋の組立と型枠の建込み、コンクリート打設からその築造が成り立っています。現在1階の躯体工事を施工中です。写真にて様子をお伝えします。



①鉄筋工事（柱配筋組立）

1階柱の鉄筋を組み立てます。長く縦に伸びた部分が主筋、その周りに段状に配筋されているものが帯筋（フープ筋）です。



②型枠工事（梁型枠吊り込み・取付）

現場で組立てた梁型枠をクレーンを使って吊り込みます。真下に支保工と呼ばれる金物をつっぱり支持することで荷重を支えます。



③型枠工事（スラブ枠組立完了）

スラブとは床構造を意味します。この上にコンクリートが打設され2階の床になります。



④鉄筋工事（梁配筋施工中）

鉄筋で梁を組立てます。写真は浮いている状態ですがこの後型枠内に落とし込みます。



⑤鉄筋工事（スラブ配筋完了）

床を支えるスラブ配筋が完成しました。網目状に上下2段に組み立てられていて頑丈です。

『 機械設備工事の進捗の様子 』



屋外では先々のことを見据え将来工事の為の給水・消火用埋設配管を行いました。（写真左）
建物の天井内には様々な配管がされるので梁貫通用のダクトを設置し準備万端です。（写真右）

『 上空からの様子 』※ドローンにて撮影（R4年7月末時点）

月末時点では全6工区中1工区の躯体コンクリート打設が完了しています。今後残りの部分についても随時躯体の打設を進めていく予定としています。（白く見える部分が打設済み箇所です）



手前に見える吹抜けのような部分が将来『健律愛ホール』となります。皆さん方が寄り合える素敵なホールの完成が楽しみです。

当工事だよりは建築工事JVで執筆しています。
お気づきの点等ありましたら下記までご連絡ください。

大曲高等学校校舎棟（建築）工事 作業所
連絡先：代表 ☎ 0187-73-8190



工事車両の出入り等で近隣の皆様にはご迷惑をおかけしているところではありますが、引き続き工事へのご理解とご協力をお願い致します。

